

日 時：2007年11月15日（木）14:20～15:05

場 所：北九州学術研究都市会議場 メインホール

議題・報告

議題に先立ち、三好総務理事から正会員 503 名のうち、5 分の 1 以上の出席（委任状提出者 150 名）があり、総会が成立したと報告があった。

1. 年次活動報告

石川会長より 2007 年度に開催された国際会議・研究会等の報告があった。日本神経回路学会は工学と科学のそれぞれが活発に、また相互の連携も活発になるよう支援を行い、併せて若手研究者育成支援も積極的に行いたいという説明がなされた。

2. 会計報告・会計監査

阪口財務・会計理事より 2006 年度決算報告と 2007 年度予算の説明があり、承認された。

また中野監事より 2006 年度の会計は正当であるという会計監査報告があり、承認された。

3. Neuro2007 報告

大森大会長より 2007 年 9 月 10 日～12 日に 3 学会合同で開催された Neuro2007 は約 3,700 名の参加があり、大盛況に行われたという報告があった。

4. ICONIP2007 報告

古川理事より 2007 年 11 月 13 日～16 日まで開催予定の ICONIP2007 は、28 カ国、約 350 名の参加があり、現在、開催中であるという報告があった。なお今回の特徴はプロシーディングスを大会終了後に配布する点と、九工大 21 世紀 COE 主催の Brain IT と同時開催されている点であると説明があった。

5. 時限研究会報告

三好企画理事より 2007 年度に開催された 4 つの研究会の内容説明があった。今後も積極的に有効活用してもらいたいという報告があった。

6. 沖縄計算神経科学コース報告

銅谷賢治氏より 2007 年 6 月 26 日～7 月 12 日まで沖縄で開催された OCNC の報告があった。JNNS からチューターの旅費援助があったと説明された。また日本人の積極的な応募を促した。

7. ASCONE2007 報告

鮫島和行氏より 2007 年 10 月 5 日～8 日まで伊豆高原で開催された学部生向けの ASCONE2007 の報告があった。JNNS から学生の宿泊費援助があったと説明された。

8. 各賞受賞者表彰

二見選奨理事より、今年度日本神経回路学会論文賞 2 編、研究賞 2 編、奨励賞 6 名を選出した旨の報告と受賞理由説明があり、石川会長から各受賞者に賞状および副賞の賞金が授与された。

9. 学会誌の電子化について

大西副会長より学会誌の電子化についての説明があった。電子化は社会の流れであり、利便性とアーカイブ化のためにも実施する方向であると報告があった。具体的な公開方法案が提案され、2008 年 3 月の理事会において結論を出したいという説明があった。なお、機関リポジトリへの収録依頼については学会として許可する方向であるという説明があった。

以上